



CONTENTS

- 1頁・医療の現場から生活の場へ 思いを受け継ぐこと
 2頁・「O・K・T」とバームクーヘン解体ショー
 ・今年も盛り上がったふれあい祭り
 3頁・患者様・ご家族様の希望実現に向けて
 ・日本透析医学会学術集會に参加・発表を終えて
 4頁・夏祭り開催!元氣な打ち上げ花火が咲いた!!
 ・第13回 ふれあいの里 秋の作品展開催告知

第124号 ふれあいの里

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者:鉄村 信治

編集:ふれあいの里広報委員会

<https://www.fureai-net.com/>



なら清寿苑施設長就任のごあいさつ

～医療の現場から生活の場へ 思いを受け継ぐこと～

特別養護老人ホーム なら清寿苑 施設長

竹之内 さゆり

令和元年7月16日より、なら清寿苑の施設長に就任いたしました。簡単に自己紹介をさせていただきます。

就任前は奈良東病院で3階病棟看護課長と副看護部長を兼務させていただいておりました。出身は鹿児島県です。趣味は上手ではありませんが「釣り」と「ゴルフ」です。

私が奈良東病院に就職したのは平成18年です。それまでは手術室と救命救急センターの経験しかない私でしたが、就職面接に来た時、当時の看護部長に「この病院で何がしたいの?」と笑って聞かれたのを今でもよく覚えています。働き始めて急性期病院の経験しかない私には驚くことばかりでした。印象的だったのが、職員同士の人間関係やチームワークの良さです。そして、それは職員だけではなく「患者様、ご家族様、地域の方たち」との関係においても同じであることに、さらに驚かされたのを覚えています。入院される患者様、ご家族を自分の家族を迎えるような雰囲気です。接している職員、「またお世話になります」と笑顔で来てくださるご家族様をみて、お互いに顔が見えるだけではなく、わかりあえる関係性があり、「いい病院だなあ」と感じました。このことが私に、この病院で頑張ってみよう、ここで働き続けたいと思わせる原動力となり今日に至っております。

奈良東病院での経験は私の看護師人生に大きな影響を与えてくれました。管理の難しさだけではなく楽しさを学びました。そして慢性期病院だからこそ看護師としての知識や技術の高さが求められ、やりがいを感じられることを教えられました。この病院での12年間は多くの方々に出会い、支えられ、本当に充実したものであったと思います。また患者様、ご家族様には入院中だけではなく退院後も病棟や外来で気さくに声をかけていただき、私はたくさんの元気をもらいました。本当にありがとう



ございました。心より感謝いたします。

今年5月、年号は平成から令和に変わりました。私もこの記念すべき新たな年に病院から在宅部門へと異動することになりました。「医療の現場から生活の場へ」視点を切り替えながら、今までの経験も活かしていきたいと考えております。病院では高齢者を患者としてみるだけではなく、生活者としてとらえ、その人らしく生きることができるよう援助することを大切にしてきました。なら清寿苑では、より生き生きと日々が過ごせることを願い、サービス提供することを目指してまいります。高齢者ケアの基本は病院でも在宅部門でも共通しており、高齢者、ご家族にとって面倒見がよく居心地良い生活の場を提供することが重要と考えます。これからは、なら清寿苑の一員として勤めます。そして患者様、ご家族様に、ここで過ごせてよかったと言ってもらえるよう努めていきたいと考えます。

施設長に就任し、ただ業務を引き継いでいくのではなく、これまで多くの利用者様、ご家族様、職員によって培われてきたものの、思いを受け継いでいくことが大切だと感じています。まだまだ病院との違いに慣れないことも多々ありますが、今後ともよろしくお願いいたします。

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

“O・K・T”とバームクーヘン解体ショー



去る7月24日、OKT様による音楽イベントが開催されました。OKTとは「O=オンチ・K=キモチ・T=トンチ」の頭文字を取って付けられており、歌が好きな方たちが集まって活動されています。

やまとでもカラオケは好評で、歌が好きな方がたくさんいらっしゃいます。イベント当日は2階のフロアが埋まってしまうほど大勢の参加者が集まり、賑わいました。知らない曲でもカステネットやマラカス、タンバリンを歌に合わせて一生懸命鳴らし、自然と体が動くほど、皆さんの生き生きとした素敵な笑顔が溢れていました。カラフルなウィッグで仮装した鍋島施設長も飛び入りで1曲歌っていただきました。

さらに7月31日にはたっくんのバームクーヘン屋さんによるバームクーヘンの解体ショーが開催されました。

大きな1本のバームクーヘンが用意され、入居者様に入刀して

いただきました。入居者様は慎重にナイフを入れてくださいました。普段は消極的な方も「私もやってみたい!」と自ら進んで参加され、入刀の際、満面の笑顔を見せてくださいました。なかなか出来ない経験ができ、思い出の1ページになりました。解体ショーの後は、皆さんにカットしていただいたバームクーヘンを召し上がっていただきました。

さらに解体ショーの後はふれあい祭りにも来て下さったRumi with 田辺ひでゆきさんに懐かしの歌謡曲メドレーを披露していただき、手拍子をしたり口ずさんだり大変盛り上がりいただきました。

「バームクーヘン」はドイツで木ケーキと呼ばれ、断面から年輪を想像させることが由来だそうです。年輪には幸せを重ねていくという意味があり、幸福の象徴とされています。これからも入居者様にとって、やまとでの暮らしが幸せの積み重なりとなるよう、スタッフ一同努力してまいります。

(介護付有料老人ホームやまと 青木 美鈴)



今年も盛り上がったふれあい祭り

～皆様のおかげで大盛況! ありがとうございます!!～



今年は前日の準備段階での大雨の影響もあり、開催できるか心配しておりましたが、天候も回復し無事に開催することができました。

当日は暑い一日となりましたが、今年も例年同様、たくさんの方々にお越しいただくことができ、多くの笑顔と歓声を見たり聞いたりすることができました。

大賑わいの模擬店は、好評の『焼きそば』・『揚げたこ焼き』・『おでん』をはじめ、多くの模擬店を出店し、来場者の方をおもてなし致しました。

また今年は、大人気の『射的』・『あてもの』以外にも子ども向け店舗の充実を図り、『輪投げ』・『スライム作り』・『にじみ絵作り』を新規出店し、さらに専用アプリをダウンロードし、人探しをゲーム感覚でできる『ふれあい祭りdeかくれんぼ』が新たに加わ

りました。模擬店の中には長蛇の列ができていた所も多数あり、多くの方で賑わっていました。

そして恒例の抽選会については、今年は本数を減らし、質を重視した豪華な賞品をご用意した結果、皆様に大変喜ばれ、例年にも増して大盛況となりました。



ステージではショーや、ダンス、歌など今年も多彩な豪華ゲストにお越しいただき、祭りを大いに盛り上げて下さいました。さらに、今年の奈良東病院グループ『ふれあい連』では、軽やかな足裁きで複雑なフォーメーションも見事に完成させ、華麗さと豪快さを肌で感じる事ができました。

大きな事故や怪我もなく、無事に第29回ふれあい祭りを終了することができましたのも、一重に祭り開催に携わって下さった皆様のおかげと感謝しております。来年の祭りも今年以上に楽しんでいただけるように、今年感じた課題の改善を進めてまいります。

来年も多くの方にお越しいただき、多くの方の笑顔に出会えることを楽しみにしております。

最後になりますが、改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(介護老人保健施設ならふくじゅ荘 事務長 福西 康夫)

患者様・ご家族様の希望実現に向けて



私たちは日頃から患者様にとって刺激となる関わりを模索していますが、患者様が長い人生を過ごしてこられた中で、どのような思いを抱いていらっしゃるのか、把握しきれていないと感じることもあります。病院での療養生活が長期に渡ること、思い入れのある場所や会いたい人との接点がおのずと少なくなり、それを日常として受け止めないといけないう状況も生じています。

今年度、奈良東病院北館2階病棟では、患者様・ご家族様へアンケートを行い、「患者様・ご家族様の願いをできる限り実現する、思い出作りのお手伝いをする」という取り組みを行うこととしました。アンケートの結果、お墓参りをするための外出、自宅



への外泊、親戚が集まっての懇親会や誕生日会の実施等、ご家族様から様々な

声をいただき、実現に向け少しずつ動いています。早速、7月にある患者様の懇親会を実施することができました。約20名のご親戚の方にお越しいただき、別室を設け、ゆっくりとした時間を過ごしていただきました。

外出を予定している患者様には、移乗の介助量が大きい方でも車椅子座位の時間延長を目指し、車椅子に座る機会を増やすよう対応しています。また日中の座位時間を伸ばした患者様の中には、夜間の睡眠の質が向上された方もいらっしゃいました。

今年度の取り組みを行うにあたって、看護師、介護士、リハビリスタッフ間にて協働する機会が増えています。医療従事者として患者様・ご家族様の願いの実現をサポートし、達成感や喜びを共有することで、スタッフ自身もやりがいを見出して欲しいと思っています。この取り組みを通し、患者様の背景やそれに対する思い、ご家族様の様々な葛藤に触れる機会を得ています。今後も「希望の実現」、「思い出づくりのお手伝い」を模索していきます。

(奈良東病院 北館2階病棟 介護係長 道畑 和典)
(リハビリテーション科 作業療法士 下平 知範)

日本透析医学会学術集会に参加・発表を終えて

6月30日、パシフィコ横浜で開かれた日本透析医学会のポスター発表に参加し「維持血液透析患者に発症した銅欠乏性汎血球減少症の一症例」について発表しました。

発表内容は当クリニックの吉仲先生にご指導いただき、現在も血液透析に通っておられる方で銅欠乏性汎血球減少症の症状が現れた際に試行錯誤しながらアプローチした実例です。

この方は透析歴8年の70代男性で、低亜鉛血症に対して酢酸亜鉛水和物の処方を受け、内服開始後4ヶ月経過して白血球・血小板が減少し、貧血の症状が生じました。さらに血清銅、セロプラスミンも低値で、銅欠乏性貧血の可能性を考え酢酸亜鉛水和物を中止し、経口による銅補充を開始しました。また、貧血に対しては輸血で対応しました。酢酸亜鉛水和物を中止しておよそ1ヶ月後、診断確立のため血液内科を受



診しました。骨髓所見は骨髓異形成症候群の進行期(MDS-EB2)で、この間銅補充は継続していま

した。酢酸亜鉛水和物の内服を中止して銅補充を開始後約3ヶ月経過して銅欠乏性汎血球減少症は改善しました。

この銅補充ですが、薬品会社の担当者からも意見をいただき、ココアに銅が含まれていることから(特にバンホーテンのココアが銅の含有量が高い)バンホーテンのココアを飲用していただきました。

私と吉仲先生は前日に横浜のホテルに泊まって参加しましたが、当日ひまわりクリニックのスタッフが横浜まで日帰り応援に駆け付けてくれて感激するやら、よけいに緊張するやらで冷や汗ものでした。発表を終えて吉仲先生に中華街でスタッフ一同みんなで御馳走になりました。準備から発表までとても大変でしたがよい思い出になりました。

(ひまわりクリニック 萬正 寛子)



ヘルスケアイノベーションハブ 経済産業省設置「Healthcare Innovation Hub」のサポーター団体に登録されました!

経済産業省は2019年4月にヘルスケアやライフサイエンスのベンチャー企業等の相談窓口として「Healthcare Innovation Hub」(通称:イノハブ)を設置されました。

この相談窓口は、ベンチャー企業等の相談者に対して支援を行う事業会社や自治体等の団体である「サポーター団体」を募集し、その団体のノウハウ等を用いて相談者であるベンチャー企業を支援するために設けられたものです。

またベンチャー企業以外でもヘルスケアやライフサイエンス分野の企業の方からのビジネスについての相談も幅広く対応されています。

サポーター団体には製薬会社や保険会社・総合商社等、各分野で活躍されている企業が登録しています。

この度、奈良東病院グループも「サポーター団体」にエントリーし、「Healthcare Innovation Hub」のサポーター団体として登録されました。

当グループが設立時から培ってきた医療・介護分野でのノウハウでベンチャー企業等とネットワークを構築していくこと等、新たな事業展開の可能性も出てくるものと考えられます。今後も地域や社会の発展につながる活動に積極的に取り組んでまいります。

(ふれあいの里 広報委員会)

「Healthcare Innovation Hub」ウェブサイト
<https://healthcare-innohub.go.jp/>



夏祭り開催！ 元気な打ち上げ花火が咲いた！！

7月2日、令和最初の「清涼夏祭り」を開催しました。毎年さまざまな企画を考え、準備・練習をし、利用者様に喜んでいただけるよう取り組んできた夏の一大イベントです。今年も全職員が自前の浴衣や甚平に着替えて登場。「まあ～、似合ってるよ」などという声も聞こえる中、祭典が始まりました。



まずは女性職員の迷演技による寸劇。これで皆様を楽しい夏祭りへとといざないます。さらに、原住民に扮し上半身裸の男性職員のコントとフラダンスが披露され、大いに盛り上がりました。

そして、盆踊り『どんぱん節』、『花笠音頭』の歌に合わせて踊り、うちわを使ったゲームで体を動かし、会場には涼しげな風が舞いました。スイカ割りでは、「まえまえー、もう少しひだりー」などの掛け声も飛び交い、ハラハラドキドキさせられました。

全員で両手のうちわを上げ下げすると、打上花火がパッと咲いたかのようで、「清涼」と題した祭りも熱気ムンムン、笑顔いっぱい会場が包まれ、夏の祭典は幕を閉じました。

(デイサービスセンター 清寿苑 檜垣 英樹)



ふれあいの里

秋の作品展

今年で13回目を迎える『ふれあいの里 秋の作品展』を開催します。
家族様・職員も毎年楽しみにしている作品展。
ふれあいの里利用者の皆様のご応募をお待ちしております。



今年もすてきな
作品をお待ち
しております！



〈展示日〉

11月1日(金)～11月28日(木)

〈展示場所〉

奈良東病院内 渡り廊下(予定)

〈申込期間〉

10月15日(火)～10月18日(金)

〈応募資格〉

ふれあいの里施設群のいずれかで入院、通院、入所、通所されている方

〈応募規定〉

- ① 書道(半紙1枚以内)
- ② 絵画・ちぎり絵(4ツ切1枚以内)
- ③ 自由作品(陶芸・編み物・人形等)

〈応募数〉

掲示場所に限りがありますので、出来るだけお一人様1点でお願いします。**応募多数の場合は掲示できない可能性**がありますので、予めご了承下さい。

作品展についてのお問合せは

ふれあいの里 作品展実行委員会(担当:谷向)までお願いします。
TEL. 0743-65-1771 (奈良東病院 事務室:内線929・332・333)

編集後記

10月に入り、秋風が心地良く感じられる季節となりました。日中はまだ暑く感じる日もありますが、朝晩は涼しく、秋の到来を感じさせられます。本格的な秋を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

さて、秋といえば皆様どのような秋を思い浮かべられますでしょうか。食欲の秋や読書の秋、芸術の秋、運動の秋など様々な秋があります。気候が良いこの季節、これまでは食欲の秋がメインだった方も読書や絵画、ジョギングなど新たなチャレンジをしてみたいかがでしょうか。

また、ふれあいの里では毎年ご好評をいただいております『ふれあいの里 秋の作品展』を今年も開催いたします。芸術の秋の集大成として、皆様の心のこもった作品をお待ちしております。

秋が終わりますと次は冬へと移り変わってまいります。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。手洗いやうがい等をこまめに行っていただき、体調にも気を配りながら季節の変化を感じていただければと思います。

(広報委員長 橋本 重之)

